

医療法人圭良会 永生病院

実施日	令和7年7月30日（水）	実施時間	9：00 ～ 12：30
参加人数 計 2名	小学生 0 名（男 0 名・女 0 名） 中学生 0 名（男 0 名・女 0 名） 高校生 2 名（男 1 名・女 1 名） その他 0 名（男 0 名・女 0 名）		
実施 プログラム	・挨拶 ・自己紹介 ・病院（施設や各職種について）説明のビデオ視聴 ・院内施設見学 ・看護体験（通所介護にてふれあい体験、血圧・脈拍測定、シャント音の聴取、車椅子体験） ・感染予防対策の説明（手袋・ガウンの着脱、手袋を外した後チェッカーにて確認） ・経管栄養の準備と注入の見学 ・体験者の感想発表など懇親会・記念撮影（記念品贈呈）		
実施内容	オリエンテーション、病院紹介ビデオ鑑賞後、院内を見学しました。透析室では初めて見る器械、体重測定の様子、リクライニング車椅子からベッドへの移乗の様子を見ました。放射線科ではプロテクターの装着や、普段見ることのないエリアの見学を行い、放射線技師の装着している線量測定バッチについて説明を受け、質問を行っていました。 通所介護では、利用者様と一緒に個別機能訓練に参加したり、脳活性の作業をしている方とお話をしました。また、血圧測定を実際に行い、利用者様の中の透析をされている方のシャント音を聴診器で聴取し、初めて聞く音にびっくりしていました。 病棟では経鼻経管栄養、胃ろうの注入の説明を受け、実際に行っている様子を見学しました。場所を移動し、手指衛生、ガウンの着脱、手袋の装着を行った後、手袋を正しく脱げているかチェッカーを使用し確認しました。感染対策の大切さが理解できたようでした。 各部署を回り、スタッフから話を聞くことで、一人の患者様に対して色々な職種が関わり、連携しチームで医療を行っている事を知ってもらえたと思います。 参加者の一人は看護師を目指しているとの事でしたので今回の体験で、看護師の仕事への関心が深まったと思われます。また、これから進路を決めていく学生も、今回の体験を通して医療の現場が将来の目標の一つになるよう興味が持てた機会になったのではないかと考えます。		

参加者の声

高校1年（女性）

通所介護でまず驚いたのは、半数が90歳以上の人であるということです。皆さんとても元気なので70～80歳の人が多いと思っていました。体操やぬり絵などで脳の活性化、体力を向上させる取り組みはとても良いと感じました。高齢者の方の健康を促進させる施設は重要なので私も興味を持って積極的に体験していきたいです。今回の看護体験で学んだ事は技術の向上のみでなく、患者様とのコミュニケーションなど相手と直接関わる事が大切だと思いました。これから社会性の向上など看護師として大切なことを学んでいきたいです。

高校2年生（男性）

患者様によって食事の仕方がかわっている（経口摂取や経管栄養など）のが大変だと思った。手足が動かしにくい人にトレーニングに使う道具（食事の自助具など）を作ったりしているのが分かった。通所介護では衰えないように頭の体操や運動をしたりして元気を保っているのが分かった。菌が広がらないように色々な作業をする毎に手指消毒をし、汚れたところが光る機械を使用して感染予防策の研修や訓練をしていることも分かった。

